



1月4日 学童保育なかよしクラブ初詣（祖母井神社）

No. 158

2016年2月1日発行

議会だより

はが

12月議会定例会

12月定例会の概要	2～3
委員会活動	4
一般質問	5～10
聲〈こえ〉私のいたいこと	11
視察報告	12
研修報告	13
議会日誌・編集室	14

条例制定、一般会計補正予算など議案を可決 12月定例会の概要

平成27年第6回芳賀町議会定例会は12月1から4日までの4日間、次の日程で開かれました。

期 日	会 議 名	内 容
12月1日	本会議	提案理由の説明、同意案採決、一般質問
12月3日	本会議	一般質問
12月4日	本会議	全議案のうち報告案件の質疑、その他の議案の質疑・討論・採決、各常任委員会事務調査報告、教育民生常任委員会の請願審査報告、追加議案の質疑・討論・採決

報 告

□専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解)

内容 東水沼地内の町道において、乗用車が、町道に生じた穴に車輪を落とし、タイヤを破損したものの、損害賠償額は1万4845円で、全国町村会総合賠償保険で対応。(質疑なし)

条例制定・廃止・二部改正

□地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の制定について

内容 芳賀町振興計画の基本構想の策定等について、議会の議決に付すため、地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例を制定するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の廃止について

内容 平成26年4月1日から町長部局に移管した社会体育に関する事務を、平成28年4月1日から教育委員会に戻すため廃止するもの。条例制定

時に期待した各種健康事業との連携による効果が上がらず、従前の組織体制の方が関係団体との連携が図れるため。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

内容 芳賀町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の廃止に伴い、関連する条例の一部を改正するもの。附則で規定していた各運動施設等の管理等について、町長部局から教育委員会へ戻すもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町部課設置条例の一部改正について

内容 芳賀町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の廃止に伴い、社会体育に関する事務を教育委員会に戻すとともに、本格化するLRTの整備推進に向けて、都市計画課に「公共交通に関する事務」を規定するため条例の一部を改正するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に

基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

内容 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項並びに第19条第9号の規定に基づき、法において定められていない町の社会保障等の事務について、条例で定めることにより個人番号の利用及び提供ができることとなるため条例を制定するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町印鑑条例の一部改正について

内容 印鑑登録証に代えて印鑑登録機能を付した個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストア等で印鑑登録証明書を取得できるようにし、町民サービスの向上を図るため条例の一部を改正するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町個人番号カードの利用に関する条例の制定について

内容 町民の利便性向上に資するため、個人番号カードを印鑑登録証として利用できるよう条例を制定するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町手数料条例の一部改正について

内容 個人番号カードを利用したコンビニエンスストア等における住民票の写し及び印鑑登録証明書の交付手数料を新たに定めるため条例の一部を改正するもの。なお、住民課窓口での利用軽減、個人番号カードの普及促進等を鑑み、住民課窓口での交付手数料より安価にしたもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町税条例等の一部を改正する条例の一部改正について

内容 法人番号に係る規定について、行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律の施行により、法人番号の定義を明確化するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町都市計画税条例の一部改正について

内容 近隣自治体の都市計画税の課税状況や現在の社会経済状況を鑑み、平成28年度について、引き続き税率を100分の0.2とするもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町国民健康保険税条例の一部改正について

【内容】 現在77万円の国民健康

保険税の賦課限度額を、後期高齢者支援金分と介護納付金をそれぞれ2万円ずつ引き上げて81万円とするため。

（質疑・討論なし、原案可決）

【芳賀町介護保険条例の一部改正について】

【内容】 介護保険料の徴収猶予

申請書等に個人番号を追加するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

【指定管理者の指定について（芳賀町B&G海洋センター）】

【内容】 芳賀町B & G海洋セン

ターの指定管理者の指定が平成28年3月31日をもって期間満了を迎えることから、引き続き指定管理者の指定をしたので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

○指定管理者 株式会社日本水泳振興会栃木営業所

所長 都丸 義弘

○指定の期間 平成28年4月1

日から平成33年3月31日まで
芳賀町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第2条に基づき公募した結果、申し込みは1社。同条例第4条の選定方法及び選定基

準に基づき、指定管理者選定委員会の審議結果から指定するもの。

【質疑】 北條 勲議員

【討論】 北條 勲議員

（原案可決）

【土地の取得について（芳賀高跡地整備事業）】

【内容】 芳賀高跡地整備事業区

域内の私有地を取得するため、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。取得する土地は、芳賀町大字祖母井1664番地39ほか9筆、総面積6630.63平方メートル、地権者は6人。取得金額は6081万544円。

【質疑】 北條 勲議員

（討論なし、原案可決）

補正予算

【平成27年度芳賀町一般会計補正予算（第6号）】

【内容】 総額に9048万2千

円を追加し、予算総額を80億8275万7千円とするもの。

【質疑】 北條 勲議員

（討論なし、原案可決）

【平成27年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）】

【内容】 総額に1100万円を

追加し、予算総額を2億6500万円とするもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

【平成27年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）】

【内容】 総額に22万5千円を追

加し、予算総額を1億4029万5千円とするもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

同意案

【人権擁護委員の候補者の推薦について】

平成28年3月31日付けをもって任期満了となる小宮隆子氏（祖母井）を引き続き最適任者として法務大臣に推薦することに同意しました。



▲小宮 隆子氏

請願

【「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書」の採択を求める請願書】

連合栃木芳賀地域協議会から

提出された請願書は、平成27年6月定例会で教育民生常任委員会に付託され、継続審査となっていました。12月定例会において「採択とすべきもの」との審査結果が報告されました。

採択された請願は、議員提出

議案「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書の提出について」として、本会議に追加上程され、全員賛成で可決しました。なお意見書は、後日、関係大臣等へ送付しました。

■一般会計補正予算の主な歳入歳出

歳入

項目	補正額	
県支出金	経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金	300万円
	水田経営とちぎモデル条件整備事業費補助金	748万3千円
繰越金	前年度繰越金	7,774万2千円

歳出

項目	補正額	
民生費	臨時福祉給付金・障害者医療費負担金・障害者自立支援給付費・子育て世帯臨時特例給付金の実績に基づく償還金	644万9千円
	後期高齢者医療特別会計への保険基盤安定繰出金	229万5千円
農林水産業費	経営所得安定対策直接支払事業費補助金	300万円
	水田経営とちぎモデル条件整備事業費補助金	1,085万円
	下高根沢青木地区道路舗装工事費	250万円
	堰の補修にかかる維持管理適正化事業費補助金	230万円
土木費	下高根沢地内町道のガードレール設置工事費	475万2千円
	損傷した町道4路線の修繕工事	1,257万5千円
	下高根沢地上山下岡田線舗装工事費	3,880万円
	打越新田土地改良地区内の道路用地購入費	1,000万円

議会閉会中の所管事務調査報告

委員会 活動

総務・教育民生・産業建設常任委員会は、所管に関する事務（※）について自主的な調査を行い、12月定例会に調査結果を報告しました。

総務常任委員会

□調査事件

広報紙のさらなる充実について

□調査目的

広報紙やウェブ、芳賀チャンネルをつなげ、町民に情報を正しく詳細に周知する方法を調査研究する。

□行政視察

埼玉県三芳町

□調査の意見と提言

広報紙は、町の情報を的確に伝えるとともに、町民の今を伝える役割も担っている。前者が勝れば、親しみが持たず、後者が勝れば町が発行する広報紙の意味が薄くなり、両者のバランスのとれた紙面づくりは難しいところがある。近年、スマートフォンやタブレット端末が急速に普及する中、紙を頼りとする層とペーパーレスに慣れた層の求める広報紙のあり方を再考するとともに、担当職員のスキルアップを図り、広報紙とICTを融合した紙面づくりに努められたい。



教育民生常任委員会

□調査事件

健康づくりの拠点のあり方について

□調査目的

近年、高齢化・少子化・育児等に課題を抱えている人が増加している。さらに医療や介護にかかる費用は増加している。元気な高齢者をつくる、育児の不安を少なくする支援を行う、健康な町民を増やすことなどが必要であることから、それらを推進するための拠点について調査研究する。

□行政視察

那須町、福島県南会津町

□調査の意見と提言

保健福祉事業が一体的に実施できる健康づくり拠点施設の整備は、当町の喫緊の課題である。健康づくり、社会福祉協議会、子育て支援事業などを含めた複合施設整備計画を第6次振興計画に盛り込み、年次目標を定めて整備することが望ましい。その際、隣接する農業者トレーニングセンターも部分的に老朽化や経年劣化が認められるので、整備手法について検討されたい。



産業建設常任委員会

□調査事件

LRTの運営状況と今後のまちづくりについて

□調査目的

芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会で進められているLRTについて、既に運行している第三セクター方式による運営状況や当該地域の将来的なまちづくり計画などを調査研究する。

□行政視察

福井鉄道株式会社

□調査の意見と提言

芳賀・宇都宮LRTが注目される理由は、約15キロもの線路をゼロから敷設し、全てが新規に建設されるLRTは国内には例がない大規模事業だからである。事業費の増大や営業主体への出資という状況の中では、多くの町民の支持を得るためにもLRTを活用して利便性や多くの経済効果をもたらすことが必須である。

今後、土地政策の見直しを行い、民間事業者も活用した沿線開発を積極的に行う必要がある。また、バス等其他の交通機関との連携を強化し、現在とは次元の違う利便性を創ることが重要である。事業効果を人口減少対策の要に据えた経済の好循環をつくる新しい町振興計画や総合戦略を立案されたい。

※各委員会の所管に関する事務

総務常任委員会……総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局・監査委員・選挙管理委員会に関する事務
教育民生常任委員会……住民課・健康福祉課・高齢者支援課・環境対策課・こども育成課・生涯学習課に関する事務
産業建設常任委員会……農政課・商工観光課・建設課・都市計画課に関する事務

一般 質問

ここが聞きたい 5人の議員が一般質問

定例会第1日目と第2日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。

北條 勲 議員 (6 ページ)

- ① 防犯カメラ等について
- ② 町が設置した看板の管理について



石川 保 議員 (7 ページ)

- ① かしの森公園とその周辺の整備について
- ② 芳賀町高齢者総合保健福祉計画について



岩村 治雄 議員 (8 ページ)

- ① トップリーダーとしての政治姿勢について
- ② 温泉センターの入館料の改正について
- ③ 展示室の復旧について



小林 一男 議員 (9 ページ)

- ① 農業振興について
- ② 防災について



水沼 孝夫 議員 (10 ページ)

- ① 芳賀町の防災対策と地域間連携について
- ② 総合戦略及び人口ビジョンにおける定住人口増加の取組みと土地利用の見直しについて



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、一人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は3月3日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



北條 勲 議員

一般質問

防犯カメラの設置について

町長 「保育園・学校に設置します」

問 防犯カメラは、犯罪を未然に防止する役目と犯罪が発生した場合の早期解決にも役立つ。不審者の侵入や事件を未然に防止するため保育園・小中学校に防犯カメラを設置できないか。

答 町長 現在、東小と芳賀中の2校は設置済みですが、芳賀中のカメラは解像度が低い状況です。芳賀中は更新し、祖母井保育園・北小・南小の3施設には設置します。

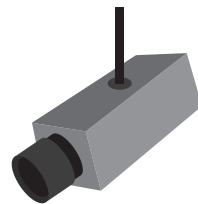
問 各地域の交通量の多い道路に防犯カメラに無

線受信機を取り付け、小型発信器を持った子どもや認知症の高齢者の位置情報を家族に通知する仕組みを導入できないか。

答 町長 通学路は交通量の多い県道は基本的に通らないため、費用対効果を考えますと導入はできません。当町では、行方不明の対策として、肌着等に名前を付けた名札や、事前に登録した情報により早期に身元が判明する高齢者あんしんネーム情報登録事業を実施しています。

問 位置情報システムは費用対効果で無理なら無料で防犯カメラを設置した自治体があります。町としての考えは。

答 総務企画部長 防犯カメラが無料であれば有効な方策と考えます。内容を把握した上で検討します。



問 ドライブレコーダーとは、映像や音声を自動的に記録する装置で、万が一の事故を記録すること、事故処理の迅速化と安全運転の向上にメリットがあります。当町の公用車に設置できないか。

答 総務企画部長 職員のみ今年度より採用2年以下の職員に県の安全運転教室センターで安全運転の体験学

習を実施していますので現時点では公用車への搭載は予定していません。

問 ドライブレコーダーを最低でも町長車と議長車に設置できないか。

答 総務企画部長 町長車と議長車へのドライブ

町が設置した看板の管理は

教育長「状況を把握して、順次修復を行います」

問 町が設置した看板をどのように管理するのか。

答 教育長 町の文化財のPRと地域の活性化のために説明板を45基設置しました。読めなくなった説明板が出てきましたので平成20年度に17基、21年度に21基修復しました。残る7基と標識等については現在の状況を把握して、順次修復を行います。

問 町が設置した看板は文化財だけではありません。どのように管理

レコーダーの設置については、今後検討していきます。



答 副町長 町の看板は多種多様設置されています。総務課管財係の台帳管理を基に各課連携をして、適切に管理ができるよう取り組みます。



一般質問



石川 保 議員

かしの森公園とその周辺の整備を

町長 「地域住民の意見を聞きながら進めます」

問 LRTに伴う混雑地点、かしの森公園の利便性は最優先でなければなりません。従来の利用者と停留所としての利便性を高めるべきでは。

答 町長 企業の駐車場を含めた地域住民や企業の皆様と話し合い、総合的な雨水対策を考えています。公園の再整備の中から対策を講じていきます。

答 町長 従来の利便性は確保します。LRTの停留所ができて通勤時間帯と公園利用者の重なる時間帯はないものと考えています。

問 かしの森公園の西側に、新たな出入口を設け、地元の利便性と従来の出入口の混雑緩和を考え、公園全体の利用価値を高めては。

問 集中豪雨やゲリラ豪雨など最近頻繁に発生している。かしの森公園の、特に西側の雨水対策を講じられたい。

答 町長 近隣住民の意見を聞きながら、かしの森公園の再整備計画の中で、できるだけ雨水対策にもつながるような効果の上

高齢化に向けた更なる取り組みを

町長 「高齢者福祉の更なる充実に努めます」

問 西会津町を参考に、ケーブルテレビを活用した健康管理、健康指導にさらに取り組むべきでは。

あります。町は、芳賀チャンネルで、食生活改善推進員等によるヘルシークッキング、運動教室指導員等によるエンジョイスリム体操や季節的な病気の予防情報を放映しています。今後も芳賀チャンネルを活用して情報提供などに努めます。

答 町長 西会津町のような端末機を設置した活用は、費用対効果の観点から、当町では難しいものが

問 在宅介護の重要性から、寝たきり老人及び認知症老人介護手当の対象を要介護2から適用にするべきでは。

答 町長 在宅での介護が困難となった場合、介護施設でサービスを受けられるようにする必要があります。一方で、過度な施設依存は介護給付費や保険料の上昇につながります。地域密着型介護施設の整備は、介護給付費の推移など、総合的な観点からの検討が必要と考えています。



▲かしの森公園入口



▲かしの森公園内

がる施設設計を進めていきたいと考えています。

答 町長 要介護3からの支援、月1万円は介護者へのねぎらいという趣旨であり、在宅介護をしている家庭の励みにつながるものです。しかし、高齢化の急速な進展により、財源問題等を考えると対象者の拡充は難しいと思われます。今後も住み慣れた地域でい

問 独居老人や老老居宅などは、誰が責任を持つのか。

答 町長 基本的には家族が支援するものだと思いますが、地域社会の中での互助の仕組みづくりが大切だと考えています。今後関係者の皆様の協力を得ながら、見守り活動の支援に努めます。



岩村 治雄 議員

一般質問

トップリーダーとしての 政治姿勢(選挙公約等)について

町長「『芳賀町を未来につなげる』を形にするため、第6次振興計画に掲げます」

問 芳賀町を明るく未来につなげていくため、便利をつなげる、笑顔をつなげる、話題をつなぐと大きく3つの公約を掲げていますが、この公約をどのような形にして、まちづくりを目指していくのか伺う。

答 町長 公約に掲げた「芳賀町を未来につなげる」を形にするため、今年度第6次芳賀町振興計画の策定を進めているところです。将来像を「躍動する芳賀のまち未来につなげよう」とし、この将来像を現

現するための手段として、便利、話題、笑顔のほかに教育と地域を加えた5つの「つなげる」を掲げたいと思っています。

問 将来的にLRTを想定した場合、コンパクトシティをつくる新たな用地が必要になると思うが、その土地の生み出しについては。

答 町長 土地改良事業により非農用地を設定し、祖母井付近にトランジットセンターなどを考えていきます。

問 町長 土地改良事業に必要になると思うが、その土地の生み出しについては。

答 町長 町土地改良区理事長は、町長になる前からです。確かに、町長に就任して、その職務は広範囲で、かつ職責は重大であると実感していますが、土地改良区理事長としての職務も果たしていかなければならないと考えています。

問 本町の土地改良区理事長の任務は、他町と比べて大変と思う。そのような中で町長職と兼ねて支障はないのか。

答 町長 両方とも重い役職ですが、行政に支障があつてはならないことです。兼務することで良い形で進められると思っております。

問 町長「消費税引き上げの時期にあわせ再度見直します」

答 町長 町税で運営される入館料を町民500円、町外者を600円に改正したことにより、入館者から不満、また入館者数の減、売上等が減少している現状にある。これらを踏まえて、料金の見直しが必要と思うが、町長の考えを伺う。

問 町長「消費税引き上げの時期にあわせ再度見直します」

答 町長 町税で運営される入館料を町民500円、町外者を600円に改正したことにより、入館者から不満、また入館者数の減、売上等が減少している現状にある。これらを踏まえて、料金の見直しが必要と思うが、町長の考えを伺う。

問 町長「消費税引き上げの時期にあわせ再度見直します」

答 町長 町税で運営される入館料を町民500円、町外者を600円に改正したことにより、入館者から不満、また入館者数の減、売上等が減少している現状にある。これらを踏まえて、料金の見直しが必要と思うが、町長の考えを伺う。

町民会館展示室の復旧について

町長「町民会館多目的室の利用を」

問 町には趣味のグループが数多く存在していますが、情報館展示室は大規模であり、年間を通して使用されているため、作品発表の場が少ない。町民会館の展示室を元に戻す考えはあるか。

答 町長 現在、サーバーとして使用しており、移設は難しいと考えています。長期的には検討しますが、当面の間、町民会館多目的室の利用をお願いいたします。

温泉センターの入館料の改正について

町長「消費税引き上げの時期にあわせ再度見直します」

問 昨年消費税増税の際に入館料を町民500円、町外者を600円に改正したことにより、入館者から不満、また入館者数の減、売上等が減少している現状にある。これらを踏まえて、料金の見直しが必要と思うが、町長の考えを伺う。

答 町長 町税で運営される入館料を町民500円、町外者を600円に改正したことにより、入館者から不満、また入館者数の減、売上等が減少している現状にある。これらを踏まえて、料金の見直しが必要と思うが、町長の考えを伺う。

一般質問



小林 一男 議員

農業振興の具体策は

町長 「梨の輸出に取り組んでいます」

問 町長は、農業振興策として芳賀米のブランド力向上と梨の海外展開を掲げているが、その具体策について伺う。

答 町長 現在、町内産米の成分検査をするため、認定農業者を中心に生産者から100サンプルを目途に米を提出していただいているところです。第1弾として、すでに協力協定を締結した宇都宮大学農学部に30サンプルの分析を委託しました。年度内には成分分析を終了し、成分結果のよい20サンプル程度を一般財団法人日本穀物検定協会

答 町長 まず輸出の取り組みです。今年度は、海外の市場調査と梨の品質

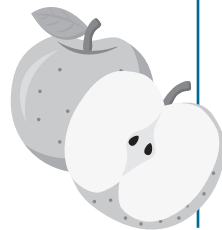
問 梨、園芸作物全般を含め、その振興策と工程について伺います。

に提出し、食味検定を行っていただきます。その結果は平成28年3月末になりませんが、これらの分析結果をまとめ、町内産米の成分、食味の分布図を作成します。作成した分布図を活用し、J・Aはが野や耕種部会、意欲のある生産者などと検討会を設置していきたいと考えています。

の調査を行うため、栃木県が主催し、12月1日からシンガポールで行われているとちぎフェアにJ・Aはが野梨部会の皆様にご協力をいただき、にっこり20ヶース、約100キロを輸出しました。さらに、1月にはインドネシアに町独自の輸出を計画しています。にっこりの輸出は、梨の販路拡大に伴い経営の安定と町のPR、そして、何よりも若い世代の生産意欲の向上を図る手段の一つとして行うものです。

等々の調査を行うため、栃木県が主催し、12月1日からシンガポールで行われているとちぎフェアにJ・Aはが野梨部会の皆様にご協力をいただき、にっこり20ヶース、約100キロを輸出しました。さらに、1月にはインドネシアに町独自の輸出を計画しています。にっこりの輸出は、梨の販路拡大に伴い経営の安定と町のPR、そして、何よりも若い世代の生産意欲の向上を図る手段の一つとして行うものです。

等々の調査を行うため、栃木県が主催し、12月1日からシンガポールで行われているとちぎフェアにJ・Aはが野梨部会の皆様にご協力をいただき、にっこり20ヶース、約100キロを輸出しました。さらに、1月にはインドネシアに町独自の輸出を計画しています。にっこりの輸出は、梨の販路拡大に伴い経営の安定と町のPR、そして、何よりも若い世代の生産意欲の向上を図る手段の一つとして行うものです。



今後の大雨への対策は

町長 「消防団等と連携を図り、迅速かつ適切な情報の提供に努めます」

問 本年は7月に洪水被害が出た後、9月10日には栃木と茨城に大雨特別警報が発令される中、県西や県南、さらには茨城県にお

いて堤防決壊による大洪水が発生しました。今後も頻発が予想される大雨への対策とこのたびの対応とをあわせて伺う。

9月の大雨被害については、特別警報が発令され、県内外において甚大な被害が発生しました。本町においては、幸いにも大きな被害はありませんでしたが、災害はいつどこで発生するかわからないことを念頭に置き、今後

答 町長 10日の午前0時20分に関東地方では初めてとなる大雨特別警報が発令され、午前0時49分には宇都宮気象台長から私、町長に適切な対応をお願いする旨の電話がありました。午前1時20分に町長、副町長、消防団本部9名、芳賀分署5名、総務課・企画課・農政課職員による災害対策本部を設置し、午前2時9分に防災行政無線とメール配信により大雨特別警報の発令を町民の皆様へ周知しました。午前8時40分には全ての部課長を招集し、現在の状況と今後の対応について協議を行い、全職員で対応していくことを指示しました。午後1時15分、第4回目の災害対策会

議を開き、通報のあった24件について対応がなされているかどうか確認を行い、午後3時10分に全ての対応を終了しました。



一般質問



水沼 孝夫 議員

芳賀町の防災対策と地域間連携について

町長「関係機関・隣接市町との連携を強化します」

問 先の豪雨災害を受け、大規模洪水時の防災、避難体制の見直しが叫ばれている。常総市は最も被害が大きかった地区に避難指示を出せず、対策の拠点になる常総市役所も浸水し、一時孤立状態となった。また、鬼怒川の堤防決壊後、川の東側の住民に、市外をつくば市等への避難を誘導せず、鬼怒川に向かう西側に誘導し、さらに混乱を招いた。当町も中央に五行川や野元川が流れ、同様の被害も想定される。市町の枠を超えた地域間連携による

答 町長 非常時の指揮系統の確保、職員の招集体制や判断基準を必要に応じて見直すとともに、消防、警察、県などの関係機関と連携を強化していきます。県内市町は災害時における市町村相互援助に関する協定を締結しています。隣接市町とは今まで以上に情報を共有し、非常時に迅速な協力体制がとれるよう連携を密にしていきます。

総合戦略及び人口ビジョンにおける定住人口増加の取組みと土地利用の見直しについて

町長「少子化対策に取り組みとともに、土地利用マスタープランの策定を進めます」

問 いまだに人口ビジョンが示されていない。さらに総合戦略には2019年開業予定のLRTを活用した沿線開発計画や延伸計画も一切示されていない。宝の持ち腐れである。町長が理事長を兼ねる北部第2地区再圃場整備などは具体的に書き込まれているが、これは農振地域で囲まれる祖母井の市街地の拡張を阻害し、人口減少に歯止めをかける中心市街地の発展と定住人口を増やす住居政策を阻むことになる。昼間人口が年々増加しても、人口減少しているのは、明らかにかな住居政策、土地利用政策の失敗である。また、所管する産業建設常任委員長の私が都市計画マスタープランの策定委員から外された。こんな議会を軽視するような行為はあってはならない。総合戦略の民間審

議委員の素晴らしい提言を無視するような戦略も誠に慎んでいただきたい。芳賀町の潜在能力を高める総合戦略にするため、町長の考えを伺う。

答 町長 人口ビジョンは2040年を1万4千人、2060年を1万3千人と考えています。人口の自然増を図るために、国・県・町が一体となって少子化対策に取り組む、出生率の改善を図ります。また、新たな住宅地の分譲や定住促進事業により社会増を図ります。土地利用についてはマスタープランの策定を進めています。議会を軽視しているつもりはないが、今後改めます。その上で市街化区域にあつては住居系や工業系・商業系の土地利用方針を、調整区域にあつては自然の保全や町、地域

問 高根沢町は2050年に1万人増やして4万人にする戦略を示している。豊田前町長の時に示した2万人の目標を減らす消極的な計画をなぜ立てるのか。

答 企画課長 決して消極的な数字とは思っていません。第4次、第5次振興計画で後期計画策定時に現実に近い数字に下げた経過も踏まえて今回は設定しました。





交通問題の改善



廣谷 学さん
 (下延生)

芳賀町で暮らし始め、約5年が経ちました。これまで長野や群馬、宇都宮、アメリカ等のさまざまな地での生活を経験してきましたが、芳賀町での暮らしはとても快適です。交通の便を除いては。バスはあるが料金が高く、バス停が少なく、夜の運行もない。実用するには至らないモノです。LRT開通の話を聞きますが、LRTが先述した問題を解決できるのか、課題となっている通勤渋滞緩和を達成できるのか、バスの運行改善ではダメなのか疑問が残ります。

芳賀町に働きに来ている人が芳賀町に住めば、渋滞緩和とともに少子化対策や人口増につながりメリットは大きい。なぜ彼らが芳賀町に住まないのか、何が妨げになっているのか。彼らの誘致を真剣に考えてみてはいかがでしょうか。また、バスの運用改善で、今ある交通問題の解決ができないのか。十分な検討とともに町民への説明をお願いします。

地域との共生を望む



黒崎 順さん
 (上稲毛田)

私は、ゴルフ場のある地域でゴルフ愛好会の会長をしています。会の目的は親睦と健康維持増進を図ることです。ゴルフができることは健康である証と考えています。昨年は、町民（町内従事者も含む）であればプレー費が安くなる「芳賀町優待カード」がありましたが、今年から「優待カード」がなくなってしまい残念です。

芳賀チャンネル「ゴルフレッスン」の番組も見ています。町内には、ゴルフ連盟や町内の愛好会が行うコンペが沢山あります。ゴルフは健康スポーツです。利用が増えることは町民の医療費抑制とゴルフ利用税増額になるメリットがあると思います。

地域（町民）とゴルフ場の共生を望みます。



ゴールデンエイジにできること



若榎 睦子さん
 (東水沼)

9歳～12歳頃の時期を「ゴールデンエイジ」というそうです。個人差はありますが、この時期に神経系の発達がほぼ100%に達するため、さまざまな動きを体験することで、運動能力は飛躍的にアップするといえます。

私自身は、いわゆる運動音痴で、体育の授業はいつも憂鬱でした。しかし幸いなことに、我が家の子どもたちは体を動かすことが大好きです。小4の長女はバレーボールを始めて1年半が経ちます。ボールを追う姿は生き生きとしており、羨ましく思うほどです。

部活動は中学生になってから・・・と考えている方も多いと思いますが、親が忙しいのはいつでも同じです。だったら、メリットが大きい小学生から始めてみませんか？誰にでも訪れるゴールデンエイジ。スポーツに親しむ基盤となる時期でもあります。家庭はもちろん、学校や町全体で子どもたちの「やる気」に応える環境づくりをしたいものです。

視察報告

産業建設常任委員会

福井鉄道株式会社を視察

10月29日、産業建設常任委員会が福井県越前市の福井鉄道株式会社を訪問しました。

福井鉄道は、越前市から福井市までを鉄道線から軌道線に直接乗り入れ、21・4キロメートルの区間を運行しています。1キロメートルごとに駅を設置し、沿線住民の生活に密着した路線となっています。また拠点駅に結節するフィーダーバスの運行により、鉄道利用の利便性を向上させるとともに、福井駅西口まで車両を直接乗り入れる延伸工事を現在行っています。そのほか利用者の利便性向上のためにさまざまな取り組みを行っており、町が宇都宮市と進めているLRT事業にも参考となる点が多くありました。



▲福井鉄道の社長・部長とともに



▲研修の様子

議会広報常任委員会

議会広報コンクール1位の川西町を視察

11月17日、議会広報常任委員会が山形県川西町議会を訪問しました。川西町議会は平成26年度町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞しています。

当日は、川西町議会広報公聴常任委員会の議員により、取材から編集・発行までの手法など、熱心な説明を受けました。

議員会

11月19日、芳賀町議員会は、町内に食肉センターを建設する計画があることから、先進事例である株式会社神奈川食肉センターを視察しました。

この食肉センターは、厚木市街地内に立地しており、鉄筋7階建てのビルで、食肉処理場には見えない外観です。

視察では施設運営や水処理状況の説明を受け、今後の建設計画の審査等の参考となる内容でした。



▲神奈川食肉センターの外観



▲研修の様子



▲研修の様子



▲川西町議会広報公聴常任委員とともに

研修報告

芳賀郡市議会議員 自治研修会

11月12日、日光市で芳賀郡市1市4町の議会議員が出席し、芳賀郡市町議会議員自治研修会が行われました。講演は、時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏による「安倍政権の政治と経済、そして地方創生の行方」、空気活性プロデューサー・コミュニケーションプロデューサーの夏川立也氏による「吉本芸人として学んだ周囲を動かす！人材活用術」で、田崎氏の講演では、安倍政権の実情や地方創生について、夏川氏の講演では、人の感情に働きかけるプラスの行動術について学びました。



▲田崎氏による講演



▲芳賀郡市1市4町の議員の皆さん

栃木県町村議会 議員研修会

11月27日、宇都宮市東市民活動センターで栃木県町村議会議員研修会が行われました。講師は中央大学大学院教授の佐々木信夫氏とジャーナリストの松本克夫氏で、佐々木氏から「地方創生の今後と地方議会の役割について」、松本氏から「戦後という時代を超えて」というテーマで講演を聴きました。

お二人とも、今後、日本における地方の役割はますます重要

自治会長と 町議会議員の懇談会

12月10日、道の駅はがで自治会長と町議会議員の懇談会が行われました。

講師には、宇都宮ライトレール株式会社取締役就任した中尾正俊氏を迎え、LRT整備事業の概要や、国内外の事例などの説明を受けました。宇都宮市と芳賀町が開通を目指すLRTは、新たに軌道を敷設することにより、交通の渋滞緩和と環境にやさしいまちづくりを目指しています。出席した自治会長や

になってくるということを語られました。



▲松本氏による講演

議員からは「LRTについての理解が深まった」などの声がかれました。



▲LRTについて説明する中尾氏

農業委員との 合同研修会

1月21日、農業委員会委員との合同研修会が、道の駅はが研修室で行われました。今回は「芳賀町の農業振興について」と題し、見目町長から講話をしていただきました。

見目町長は「土地基盤整備・担い手育成・芳賀米のブランド化・梨の輸出など町の面積の半分以上を占める農地を活かし今後の町づくりにつなげていきたい」と話されました。その後、山本農政課長から農業委員会制度改革の内容や今後のスケジュールについて説明がありました。



▲町の農業振興について語る見目町長

議会日誌

11月

- 2日・町健康づくり推進協議会
- 4日・芳賀北部広域行政推進協議会
県への要望活動
- 5日・栃木県町村議長会会議・研修会
・国体準備委員会・常任委員会
- 9日・議員全員協議会
- 11日・第3回町振興計画審議会
・まちひとしごと創生総合戦略策定委員会
・町村議会議長全国大会
- 12日・芳賀郡市町議会議員自治研修会
- 14日・消防団通常点検
- 17日・議会広報常任委員会行政視察
(～18日)山形県川西町
- 19日・議員会食肉センター学習会 厚木市
・まちひとしごと創生総合戦略勉強会
- 20日・例月出納検査
・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・南小10周年記念式典
・第4回ふれあい福祉まつり
- 24日・議会運営委員会・教育民生常任委員会
・産業建設常任委員会
・商工会と芳工連との交流会
- 25日・芳賀郡市町議長会定例会
- 27日・栃木県町村議会議員研修会
- 29日・赤羽有紀子ロード
マラソン・ウォーキング大会

12月

- 1日・12月定例会(～4日)
・総務常任委員会・議会広報常任委員会
- 3日・議員全員協議会
・議会改革検討委員会
- 9日・第4回振興計画審議会
・まちひとしごと総合戦略策定委員会
・男女共同参画推進委員会
- 10日・自治会長との懇談会
- 11日・チャレンジデー実行委員会
- 18日・例月出納検査
- 20日・はが路ふれあいマラソン
- 21日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 25日・芳賀地区広域行政事務組合議会定例会

1月

- 6日・新春賀詞交歓会
- 10日・成人式
- 14日・芳賀北部広域行政推進協議会
- 15日・芳賀工業団地連絡協議会賀詞交歓会
- 20日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・農業委員との懇談会
・議会広報常任委員会
- 22日・例月出納検査

議会だよりの表紙写真を募集!

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集します。

テーマ 「元気な芳賀町」

(人物・風景等は問いません)

応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント(L版以上)またはデジタルデータのタテ型
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合があります。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得てください。
- ・住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。

応募締切 平成28年4月15日(金)



応募先 芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は5月発行予定です。

編集室

平成27年は海外では大地震や自爆テロ・同時テロ。国内では台風などの影響で関東・東北で豪雨となり、鬼怒川の堤防が決壊するなど大きな災害に見舞われました。

こうした暗い出来事の反面、ノーベル賞を二人の日本人が受賞するなど世界に誇れる明るいニュースもありました。

平成28年は災害や事件のない穏やかな年であってほしいものです。本年度は平成28年度か

らスタートする第6次振興計画の策定年度であることから、夢と希望に満ちた計画づくりのため、一般質問では計画の基本となる人口や土地利用などについて慎重審議がされています。編集室ではわかりやすく読みやすい「議会だより」をめざしています。ご意見をお寄せ下さい。

(議会広報常任委員会)

委員長 大根田周平

■議会広報常任委員会

委員長 大根田周平

副委員長 大根田 弘

委員 岡田 年弘

委員 増瀬さつき

委員 杉田貞一郎